

お母さんの夏かぜ

お母さんが夏かぜをひいた。

夕方なのに、ふとんでねている。

弟が

「ママ、おきて、おきて。」

と言っていたけど、

ぼくは言えなかった。

お母さんのそばにそつとねてみた。

あまいにおいがした。

いつもは弟のとくとうせき

ちよつとかりるよ。

ぼくはうとうとと

ねむってしまった。

目がさめたら、おなかに

タオルケットがかけてあった。

おなかがほかほかしていた。

お母さんのふとんは

空っぽだった。

キツチンから

ごはんがたけるいいにおい。

ぼくはほつとした。

もうちよつとだけ

タオルケットをかぶつていよう。

お母さんが

「こうちちゃん、ごはんやで。」

といつも大きな声で

よんでくれるといいな。